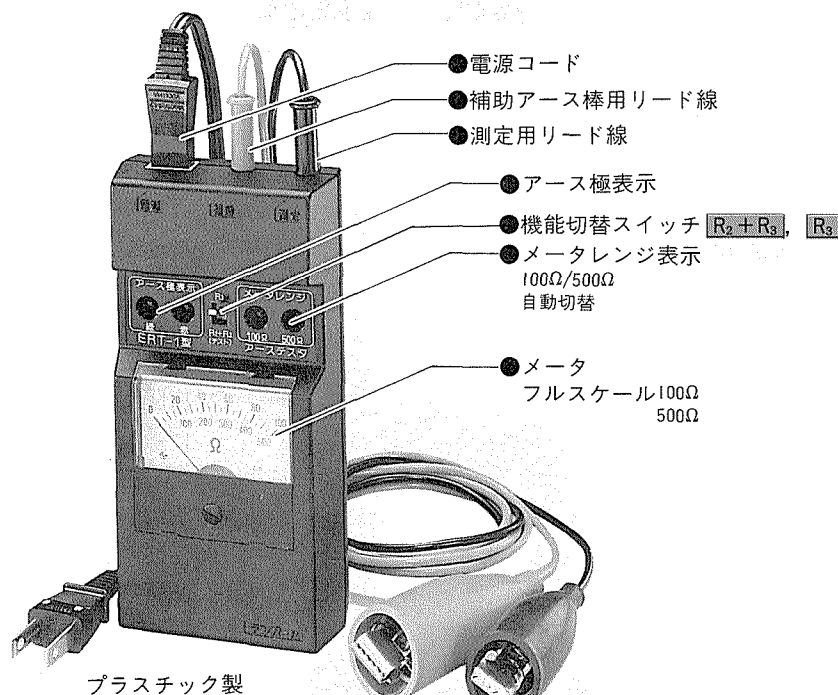
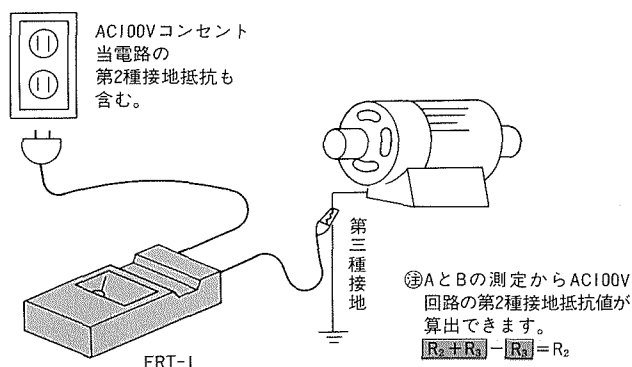


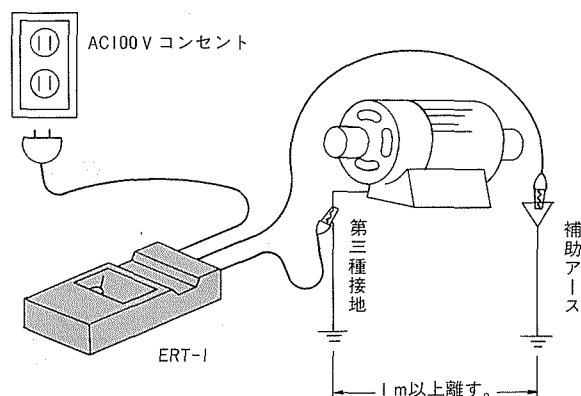
第2種接地抵抗値+第3種接地抵抗値の測定。 A

機能切替スイッチ $[R_2+R_3]$ にする。



第3種接地抵抗値のみ測定。 B

機能切替スイッチ $[R_3]$ にする。補助接地抵抗は50KΩ以下であれば良い。



動作概要

- ①測定用リード線を被測定物のアース極に接続すると、アース極判別部が電源回路の第二種接地線側を自動的に判別し内部 R_{y1} 又は R_{y2} (リレー)で定電流発生部とこのアース極を接続します。
- ②定電流発生部で電源周波数の1/2の周波数を基本波とする方形波を発生し、方形波はアース極線→第二種接地→大地→第三種接地→本器測定用リード線の順で増幅部に加えられます。
- ③機能切替スイッチが $[R_2+R_3]$ の場合には、第二種接地抵抗値 R_2 と第三種接地抵抗値 R_3 の和に比例した電位差を増幅部で増幅します。
- ④機能切替スイッチが $[R_3]$ の場合には、補助アース棒用リード線より補助アース点と測定用リード線間の電位差、すなわち第三種接地抵抗だけに比例した電

位差を増幅します。

この時、増幅器の入カインピーダンスを非常に高くしていますので、補助接地抵抗値 r が50KΩ以下であるなら誤差がないようにしています。

- ⑤増幅信号のうち抵抗分だけを同期整流部で取り出しその信号の大きさにより自動的に2つのレンジに切替表示します。地電圧や対地容量による影響は除去されます。

